

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 2 - 2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	財務管理システム導入事業							
評価者	担当課名		財務企画課		担当係名			
	管理職	職名	課長		作成者	職名		
		氏名	原 正 美			氏名	横 田 和 幸	
事業の概要	財務管理システム(企業会計を除く)を導入し、予算編成から決算までの一元管理を行い、財務会計事務の効率化と省力化を図るとともに、予算の厳格な運用を推進する。また、財政計画支援システムを導入し、中長期的な財政計画及び財務諸表等の整備を図り、健全な財政運営を推進する。					全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 21 年度～ 24 年度)		
						事業費	国・道支出金	千円
							地方債	千円
							その他	千円
							一般財源	5,130 千円
							事業費計	5,130 千円
実施方法	■ 直 営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総 合 計 画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B		
事業の位置付け	政 策 目 標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進						
	基 本 施 策	24 効果的・効率的な行政経営						
	単 位 施 策	4 財政の安定化						
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等							
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
	地 方 債	千円	千円	千円	千円	千円		
	そ の 他 財 源	千円	千円	千円	千円	千円		
	雄武町負担額 (一 般 財 源)	千円	578 千円	千円	千円	4,500 千円		
	合 計	千円	578 千円	千円	千円	4,500 千円		

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	予算編成から決算までの事務を単独的な処理で行っており、非効率である。また、各種財務諸表等の作成に時間を要する。	財務管理システム・財政計画支援システムの導入			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予算編成から決算までの一元管理及び中長期的な財政計画や各種財務諸表の整備を図る。	① 財政計画支援システム導入	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成21年度	
			目 標 値	1 式	
			実 績 値	1 式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	予算編成から決算までの一元管理により、財務会計事務の効率化と省力化を図るとともに、中長期的な財政計画や各種財務諸表の整備を図り、健全な財政運営を推進する。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目 標 値		
			実 績 値		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
財政計画支援システム導入	中長期的な財政計画や各種財務諸表の整備を図るため、財政計画支援システムを導入した。				

3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	☐ 義務的なもの	健全な財政運営を推進するためには、中長期的な財政計画や各種財務諸表の作成が必要である。
	☐ 全部 ☐ 一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	財政計画支援システムの導入により、平成22年度以降に作成する中長期的な財政計画や各種財務諸表の整備が推進される。
	☐ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	財政計画支援システムの導入により、中長期的な財政計画や各種財務諸表の作成事務の効率化と省力化が図られると判断する。
	☐ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☒ 時間短縮・作業軽減 ☐ その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	財政計画支援システムについては、本町の各種財務諸表や中長期的な財政計画の整備のため導入したものであり、公平であると判断する。
	☐ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
健全な財政運営を推進するため、財政計画支援システムを導入しており、計画どおり事業を進めることができたと判断する。		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		
平成24年度に財務管理システム (企業会計を除く) の導入を計画しており、予算編成から決算までの一元管理による財務会計事務の効率化と省力化を図るとともに、予算の厳格な運用を推進する。		
＊展開方向の区分 ☐ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ☐ 終了 ☐ 休止 ☐ 廃止		

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--